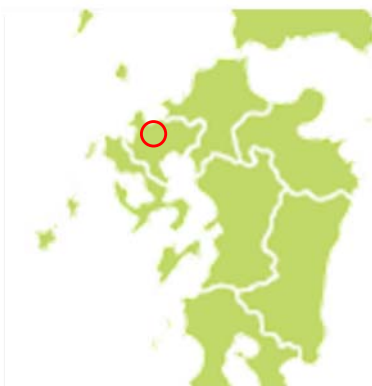


対象地域：佐賀県

再生課題：川の氾濫を許容し、かつての湿地環境を再生させる



あ
ア

ざ
ザ

め
メ

の
の

せ
瀬

再生
目標

- ① 河川の氾濫原的湿地の再生：昔どこにでもいたコイ・フナ・ドジョウ、ナマズ、カワエビなどの多様な生物・植物の生息・生育空間を復元
- ② 人と生物のふれあいの再生：子どもたちが動植物にふれあえる場として「人と生物のふれあいの場」を再生

- 事務局
国土交通省九州地方整備局武雄河川事務所
- 対象地域
一級河川松浦川右岸15k800付近
(6ha)
- 活動開始：H13. 11. 6
(第1回検討会開催)
- 活動計画：H14. 3. 11
(全体計画図素案作成)
(R4. 2現在)



松浦川は、青螺山に発し玄界灘に注ぐ一級河川です。松浦川流域では、河川改修等により治水上の安全度は向上したものの、コイやフナ、ドジョウやナマズといった普通に見られた魚が減少し、子供たちが川で遊ぶ機会も減少していました。

そこで、アザメの瀬地区の河川改修にあたり、氾濫原としての機能を持つ湿地の再生に着手しました。段階的施工（修正設計）とモニタリングを実施するとともに、整備段階から順応的管理まで、地域住民の積極的な参加により実施しています。住民と行政、学識者で共に考え、整備内容を熟成させていくために、完成に至るまで月1回程度の頻度で「アザメの瀬検討会」を行いました。

自然再生の手法

- 氾濫原としての機能を持つ湿地の再生
- アザメの瀬検討会の実施

ここに注目！

環境学習の推進

地元小学生向けの環境学習の他、一般公募による「夏休み自然環境教室」では、捕獲した生き物について九州大学の学生が解説を行うなど、好評を得ています。また、「つつみ返し」など地域の伝統行事を子どもたちに継承しています。



夏休み自然環境教室



魚とりの様子